

高速近接無線技術研究組合（略称：HRCP）の概要

- 設立年月日 : 2016年8月26日
- 理事長 : 土田 隆平
- 組合員(2社) : ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)、日本無線(株)
- 事業の概要 : 大容量データ転送のためのミリ波による近接高速転送技術の開発

□ 組合設立の目的

- 近年、モバイル通信量の急速な増加や無線通信の高速化に伴い、周波数の需要が増大。中・長距離通信に頻繁に利用される電波帯域（マイクロ波）は益々混雑。
- モバイル通信において低利用であった電波帯域（ミリ波）を活用し、短時間に大容量データを通信できる転送技術を開発。

□ 実用化の方向性

- ミリ波の特徴（直進性、距離による減衰）を考慮し、安定的に通信が可能な近接通信に特化した技術を開発。
- 当該技術を多くの電子機器に搭載する事業化を目指す。

□ 事業化の目途の時期

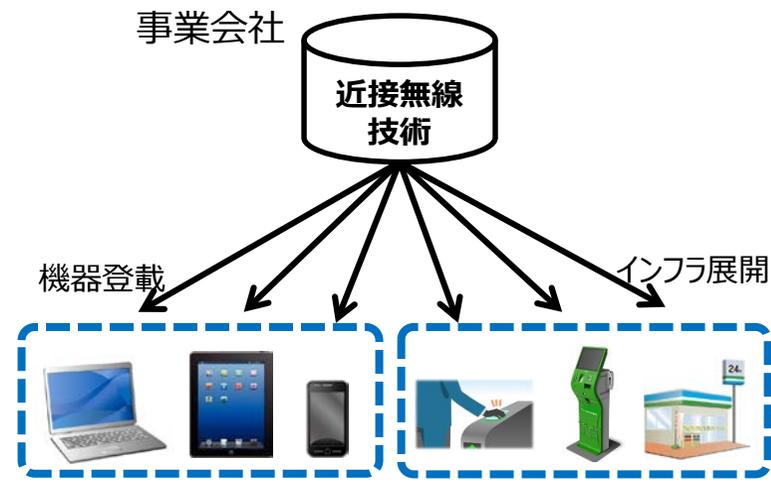
- プロジェクト終了直後、H31年度以降を目途。

【本技術の特徴】

- Point to Point(1対1)型
- 近接通信
- 低消費電力、高速接続・高速切断
- ミリ波による超高速転送



【事業化のイメージ】



● 研究開発体制

